0 序文 2025年11月14日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

- 当組合は、「組合員・地域住民との絆を大切に、夢と活力に満ちた、信頼される」 Aづくり」を経営理念として掲げています。当組合ではこの理念のもと、「組合員・利 用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、農協の総合事業の 特性を生かし、お客さまに寄り添い、安定的な資産形成に貢献するため、また、お客 さまのニーズに応じた「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供により、豊かで安心 して暮らすことのできる生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、 今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」(「比較可能な共通 K P I 」)も同時に公表いたします。
 - (注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)が、 共同で事業運営しております。

黒部市農業協同組合

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)補充原則1~5本文および(注)】

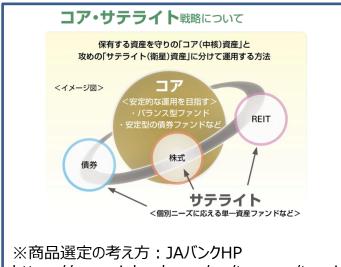
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 組合員・利用者の皆さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用して、適切に販売しております。
- 組合員・利用者の皆さまにより良い金融商品を提供するため、JAバンク全体として、共通フォーマットにて、金融商品を購入した組合員・利用者の皆さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供し、その結果のフィードバックを受けております。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、組合員・利用者の皆さまのニーズに合った商品を取入れます。また、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社 との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外	
債券型	1 (前年度末:1)	6 (前年度末:6)	
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)	
REIT型	2 (前年度末: 2)	2 (前年度末: 2)	
バランス型	7 (前年度末:7)		

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債 投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>



※商品選定の考え方: JAバンクHP https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi sintaku/select/

- 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供
 - (2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、 原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1~5本文および(注)】

- 当組合は、お客さまの日々の生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して安心して備えられるよう、 最良・最適な共済仕組みを提供いたします。なお、当組合は、外貨建て共済などの市場リスクを 有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 総合満足度は2025年3月末時点で92.2%となっており、高水準を維持しております。

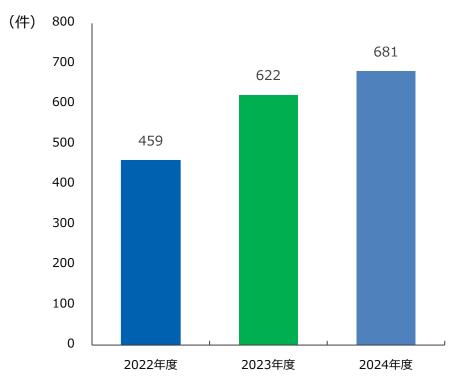
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供① (1)信用の事業活動

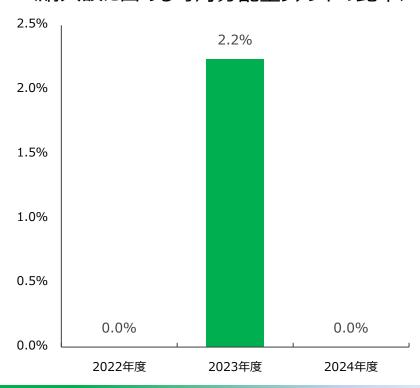
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1~7)】

• 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>

く購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



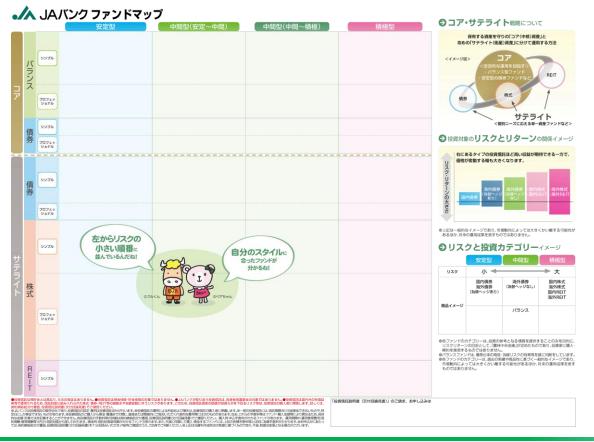


2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1~7)】

(1)信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。





2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

(2) 共済の事業活動

- 当組合は、JA共済のキャラクター「ひとのわグマ」のように、人の輪(絆)を大切にし、お客さまに寄り添い、ニーズをとらえた最適な保障と安心をお届けするため、各種公的保険制度等の情報提供、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等の確認を行い、共済仕組みをご提案いたします。また日々の接点を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施いたします。
- 保障の加入にあたっては、皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、わかりやすい重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を実施します。
- 特にご高齢のお客さまに対しては、より丁寧にわかりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、 ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行い ます。
- なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

• お客さまへの商品選定や保障提案、情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

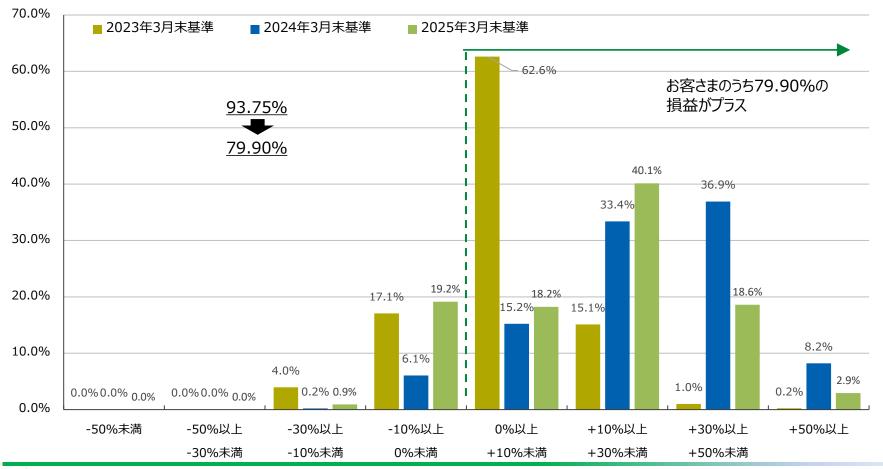
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および(注)、原則6 (注5)原則7本文および(注)】

- お客さま本位の業務運営を実現するため、研修の充実や資格取得を推奨し、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成します。
- お客さま本位の業務運営に沿った活動が評価されるよう、業績評価体制を整備します。
- お客さまからいただいた「声(お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など)」を誠実に受け止め、 業務改善に取り組むとともに、最適な金融商品、共済仕組みを提供できるよう、継続的に職員 育成を行います。

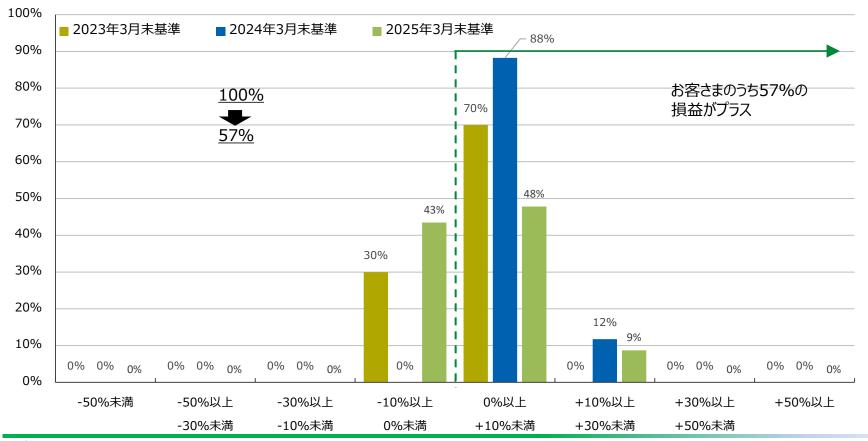
1 運用損益別顧客比率(投資信託)

「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の79.90%のお客さまの損益がプラスとなりました。



1 運用損益別顧客比率(ファンドラップ)

- 2022年10月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス(ファンドラップ)の「運用 損益別顧客比率」は、2025年3月末時点で全体の57%の組合員・利用者の損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、組合員・利用者の目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



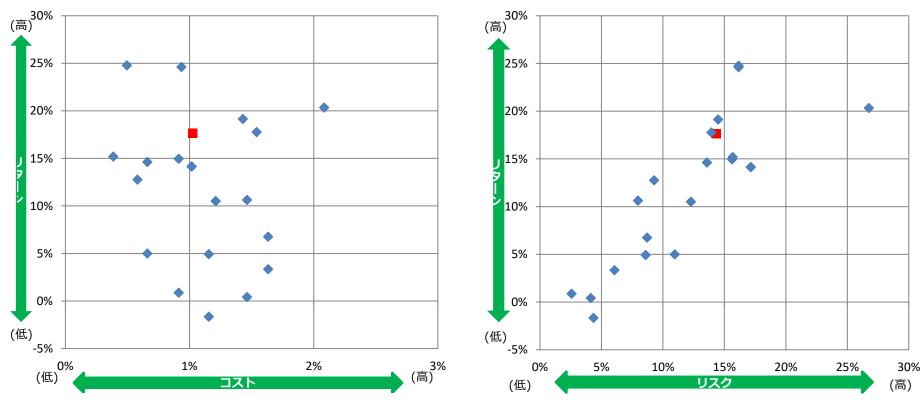
Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2025年3月末)

- J A バンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づき チェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.03%、平均リスク14.32%に対して、 平均リターンは17.64%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

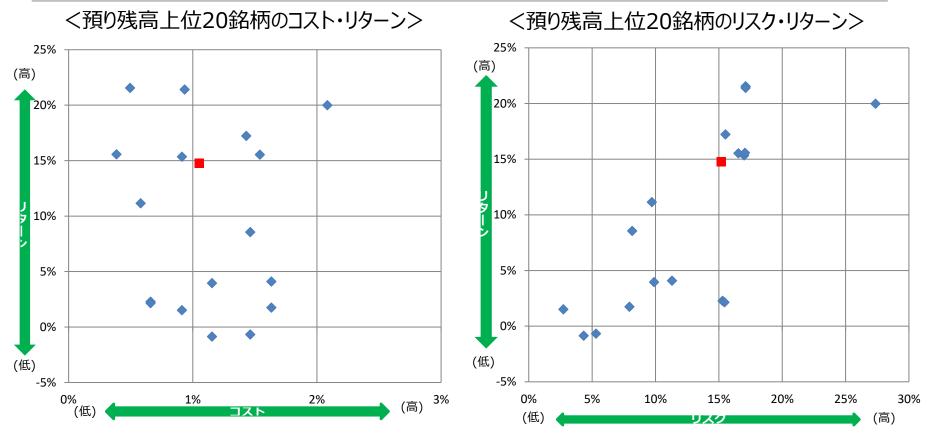
<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

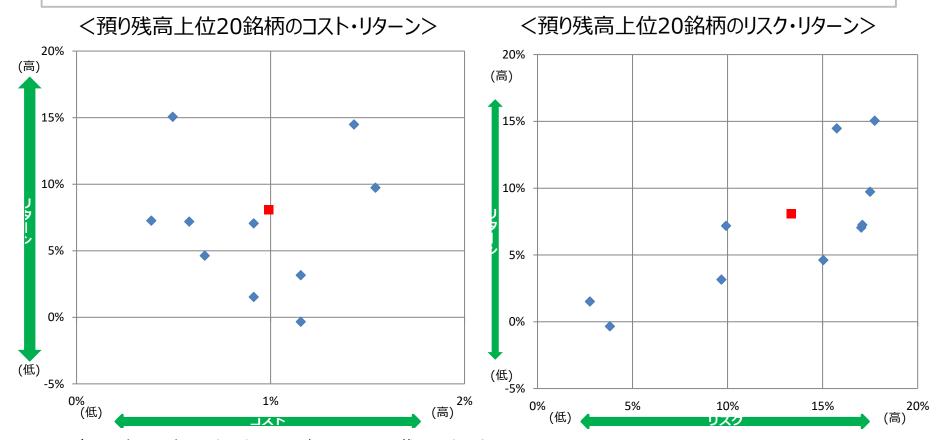
- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2024年3月末)
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.05%、平均リスク15.19%に対して、 平均リターンは14.76%となりました。



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3) (2023年3月末)
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.99%、平均リスク13.34%に対して、 平均リターンは8.07%でした。



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
8	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
11	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
12	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
13	One二ッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	0.87%	2.57%	0.91%
14	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
15	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
16	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	0.42%	4.12%	1.46%
17	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
18	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	10.63%	7.96%	1.46%
19	グローバル・リート・インデックスファンド(毎月決算型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.14%	17.14%	1.02%
20	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		17.64%	14.32%	1.03%

^{※ 2025}年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3)(2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
7	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
11	One二ッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
12	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
13	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
14	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
15	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
16	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
17	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		14.76%	15.19%	1.05%

- ※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。
- ※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3)(2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
8	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.07%	13.34%	0.99%

^{※ 2023}年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。